

主な出演者紹介

大島 政允



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1942年生れ、福山出身
能大島家4代目 福山在住

大島 輝久



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1976年生れ、福山出身
能大島家5代目 東京在住

大島 衣恵



能楽シテ方 喜多流
エリザベト音楽大学非常勤講師
1974年生れ、福山出身
福山在住

江崎 欽次朗



能楽ワキ方 福王流
国総合認定重要無形文化財
1973年生れ、姫路出身
江崎家12代目 姫路在住

長島 茂



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1959年生れ、福山出身
埼玉在住

狩野 了一



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1967年生れ、熊本出身
東京在住

金子 敬一郎



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1968年生れ、松山出身
東京在住

佐々木 多門



能楽シテ方 喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1972年生れ、岩手出身
東京在住

森田 保美



能楽前方 森田流
国総合認定重要無形文化財
1963年生れ、京都出身
京都在住

久田 舜一郎



能楽小鼓方 大倉流
国総合認定重要無形文化財
1944年生れ、名古屋出身
西宮在住

谷口 正壽



能楽大鼓方 石井流
国総合認定重要無形文化財
1968年生れ、神戸出身
大津在住

梶谷 英樹



能楽大鼓方 金春流
22世金春惣右衛門、
祖父梶谷尚太郎に師事
1970年生れ、岡山出身
東京在住

野村 萬齋



能楽狂言方 和泉流
国総合認定重要無形文化財
1966年生れ、東京出身
東京在住

深田 博治



能楽狂言方 和泉流
1967年生れ、大分出身
埼玉在住

高野 和憲



能楽狂言方 和泉流
1972年生れ、茨城出身
東京在住

入 場 料 ※当日ご購入は500円増。※幼児の入場はご遠慮下さい。

指定席 ▶ 6,000円 一般券 ▶ 3,000円 学生券 ▶ 1,000円 (小学生～大学生)

チケット販売 4月1日(金)より発売 ※ローソンチケット、チケットぴあは一般券・学生券のみ販売します。

リーデンローズ ▶ TEL.084-928-1810 ローソンチケット ▶ TEL.0570-084-006 Lコード61345
喜多流大島能楽堂 ▶ TEL.084-923-2633 チケットぴあ ▶ TEL.0570-02-9999 Pコード449-798
天満屋福山店プレイガイド ▶ TEL.084-927-2608

●お問合せ 新作能「福山」初演事務局 喜多流大島能楽堂 TEL.084-923-2633 osimano@orange.ocn.ne.jp http://www.noh-oshima.com

●主 催 福山市市制施行100周年記念事業推進委員会
新作能「福山」初演実行委員会：福山商工会議所 福山文化連盟 福山喜多会 福山青年会議所 福山市教育委員会 (公財)ふくやま芸術文化振興財団

託されたばら 福山市市制施行100周年記念事業
プロジェクト

100年
今までもこれからも
PASS THE ROSE FUKUYAMA



時空を超えて現る

福山初代藩主 水野勝成と 老中首座 阿部正弘

福山の空高く 幸せを運ぶ鳥 朱雀が舞う



新作能

福山

初演会

日時

2016年 7月16日(土) 14:00開演 (13:30開場)

ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ 大ホール
広島県福山市松浜町2-1-10 TEL.084-928-1800 FAX.084-928-1801

福山市市制施行100周年記念協賛 特別展示

福山ゆかりの
刀剣と能の世界

と き 6月18日(土)～7月18日(祝)
※月曜日休館(但し、祝日の場合は翌日)
と ころ 福山城博物館 ※有料

特別ご招待

福山市在住小学生1名と保護者1名の
20組、往復はがきにてお申し込みくだ
さい。応募者多数の場合は抽選。

記載項目 『新作能「福山」初演会
招待希望』と記載の上
保護者名・住所・電話番号
氏名・小学校名・学年
宛 先 〒720-8501 福山市東桜町3-5
福山市役所 文化課 宛
締 切 5月1日(日)～6月17日(金)
消印有効

対談 野村 萬齋
大島 輝久

狂言 野村 萬齋 他

能 大島 政允
大島 輝久
大島 衣恵 他

福山市市制施行
100周年記念事業

新作能「福山」初演会

○連吟「鞆浦」 福山市内児童

○連吟「鞆のむろの木」 福山市立大学生他

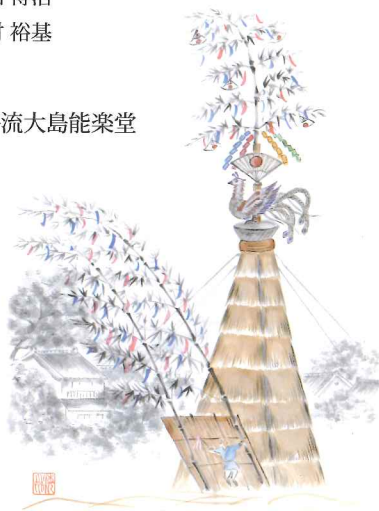
○対談「100年先を見据えたまちづくり、人づくり」 野村 萬斎 大島 輝久

○狂言「蝸牛」

山伏……………野村 萬斎 主……………深田 博治
太郎冠者……………高野 和憲 後見……………野村 裕基

○新作能「福山」 原作：森和子 制作/構成：喜多流大島能楽堂

前シテ・水野勝成の霊……………大島 政允
後シテ・朱雀神……………大島 輝久
シテツレ・阿部正弘の霊……………大島 衣恵
ワキ・旅人……………江崎 欽次郎
子方・花の精……………児童 約10名
笛……………森田 保美
小鼓……………久田 舜一郎
大鼓……………谷口 正壽
太鼓……………梶谷 英樹
地謡……………長島 茂 狩野 了一
金子 敬一郎 佐々木 多門 他
後見……………長田 驍 長田 郷



司会 渡辺 敏恵
終了予定 16:00頃

能(能楽)、新作能とは

能は今から約650年前、室町時代に観阿弥・世阿弥父子がそれまであった猿楽や田楽などを集大成し、「夢幻能」と呼ばれる手法を完成した舞台芸能です。面をつけて演じる仮面劇でもあります。信長、秀吉、家康等も愛好し、江戸時代にはそれまであった四流(観世・宝生・金春・金剛)に加えて喜多流の樹立が許され、能楽は式楽となり、幕府や各藩の祝賀や四季折々に能が催されました。

能の典拠の多くは、伊勢物語、源氏物語、平家物語など古典に求め、現行曲は240曲ほどありますが、よく演能されるのは約80曲ぐらいです。江戸時代には新しく能を作るとは禁止されており、明治維新後に新しく作られた曲を新作能といいます。最近では新作能の上演も活発に行われていますが、地方都市での江戸時代の歴史を題材にした能は珍しく、新作能「福山」は福山市市制100周年を祝し、福山の歴史と伝統に沿って制作されました。

曲目解説

■ 新作能「福山」

一人の旅人が福山に着き、福山城を訪れます。城内で薄紫の花の咲く木を眺めていると老人が現れて、それは「あふちの花」と言い、また「せんだんの木」で福山の標の木であると教えます。老人は旅人を天守閣へ案内し、福山城の調れ、恵み豊かな福山の町を築いた水野勝成のことなどを語り、自分こそ水野勝成の化身であると言って姿を消します。辺りには花が咲き誇り、花々の精が現れて福山を寿ぐと、阿部正弘の霊が公達の姿で現れ、人を育てることがいつの時代も大事であると説いて世の平和と人々の安寧を祈ります。天地も感応し福山の守神である朱雀神が天空を飛び廻り、幾久しい福山の繁栄を祝福してめでたく舞い納めます。

人物紹介

水野 勝成……………永禄7年(1564)~慶安4年(1651) 享年88歳

備後福山藩初代藩主。築城にあたり、こうもり山の現在地を選んだ。南に向かって城下町を作ることで、海運に恵まれ、実り豊かな耕作地を確保できると予見した。勝成公のねらい通り、運河を城内に引き入れ、海運を盛んにし、イグサの栽培で備後表、綿花の栽培で備後緋、灌漑による新田開発、鉱山開発、タバコの栽培を成功させる。また、吉備津神社など寺社を復興させた。勝成公は文化人でもあり、能楽・俳句・和歌に親しみ、俳人野々口立圃を招聘した。専ら福山に在住し善政に尽力し、今日に至る福山の礎を築く。

阿部 正弘……………文政2年(1819)~安政4年(1857) 享年39歳

江戸末期の備後福山藩阿部家第七代藩主。老中首座を務め幕末の動乱期にあつて安政の改革に尽力。人材育成のため、江戸丸山と福山藩に誠之館を設立。また、講武所、海軍伝習所、洋学所を創設。それらはのちの海軍や東京帝国大学の基礎となった。黒船来航の際、開国を迫られ、諸大名から意見を募るといった画期的な政策を採った。また、関藤藤陰、勝海舟、ジョン万次郎等身分に関わらず、有能な人材を登用した。

■ 狂言「蝸牛」(かぎゅう)

長寿の祖父にますます長生きをしてもらおうと思った主人は、長寿の薬にもなるという蝸牛を召使い(太郎冠者)にとってくるよう命じます。蝸牛がどのようなものか知らない太郎冠者は、竹やぶに行けば必ずいるものだとか教えられ、言われたとおりに竹やぶに着くと、そこに何者か寝ています。もしや蝸牛ではないかと思った太郎冠者は…。山伏を蝸牛と取り違えるという突飛な演出に思える本作品ですが、そこは狂言のこと、そんな事を感じさせる余地のない可笑しさを誘います。



■ 連吟「鞆浦」

大正6年(1917)、大島寿太郎 鞆の美しい景色を寿ぐ能。福山市内の能学習実施校より推薦された児童が元気良く謡います。連吟とは能の一部分の謡どころを揃って謡うことです。

■ 連吟「鞆のむろの木」

平成14年(2002)、帆足正規作 大島政允節付 大伴旅人が亡き妻との愛しい思い出を綴る能。福山市立大学 能クラブの部員が中心となり、地元の万葉の歌を美しく謡います。